

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29 年 6 月 13 日			
留 学 先 大 学	ミネソタ大学 (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名	College of Liberal Arts (Communication Studies)			
在 籍 身 分	Non-degree student			
留 学 期 間	平成 28 年 9 月 6 日～平成 29 年 5 月 13 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: J-1			
	ビザ申請先: アメリカ領事館 (大阪)			
	取得方法, 提出書類: オンラインで必要な情報を記入し、面接の予約を取ります。			
	手続きに要した日数: 2 週間程度			
その他必要な事前手続き				
出 国 年 月 日	平成 28 年 8 月 22 日			
経 路	東京ーシカゴーミネアポリス			
現 地 での 出 迎 え	<input type="checkbox"/> 有 (友人の出迎え)			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	秋学期が始まる約2週間前から留学生向けの様々なオリエンテーションがありました。参加必須のものと自由参加のものがあります。			
帰 国 年 月 日	平成 29 年 5 月 17 日			
経 路	ミネアポリスーフェニックスーサンフランシスコー東京			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	190 万	円	
	内訳	渡航費	23 万	円
		保険料	10 万	円
		教科書代(学費)	2 万	円
		宿舍費	70 万	円
		食費	40 万	円
		その他 (旅・交際費)	32 万	円
(雑費)	13 万	円		
(費)		円		

3. 授業について			
2016年 秋学期	9月6日	～	12月22日
2017年 春学期	1月17日	～	5月13日
年 学期	月 日	～	月 日
年 学期	月 日	～	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)			
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること		
学術面に関する後輩へのアドバイス	交換留学生の授業履修の順番は最後です。到着後、できるだけ早く履修登録をすることをお勧めします。興味がある授業はすべて登録しておき、調整期間で必要なものだけ残すという形をとっていました。		
4. 生活等について			
(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート		
住居の広さ	約 m ²	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有 (2 人)
住居に附属する設備	<input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> インターネット		
住居費	1ヶ月当たり 800 ドル	(現地通貨)	約 9 万 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介		
留学先での住居全般に関するアドバイス	秋学期は寮、春学期はアパートに住んでいました。どちらも高いので、可能なら自分で大学周辺のアパートを契約したほうがいいかもしれません。		
(2) 医療について			
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> しなかった		
入院した場合			
留学に当たり保険を	<input type="checkbox"/> 掛けた		
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本		
掛け金は	年間 円	補償額 死亡 円, 入院1日 円	その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有		
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	ムンプス		
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> なかった		

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	キャンパス内に診察無料の病院がありました。薬代は支払いが必要。私自身、大きな病気にかかることはなかったのであまり利用したことがないですが、緊急でない限り予約をしてから診察まで数日待たなければいけない場合もあるそうです。インフルエンザの予防接種を受けました。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	過去に留学していた先輩方からも聞いていましたが、冬は本当に寒さが厳しかったです。防寒具は現地で調達できるのでしっかり防寒してください。加えてかなり乾燥しています。ボディークリームなど役に立つと思います。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	2019 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 30 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 単位不足のため	
現在の状況および今後の予定・進路等	今年の秋に、一年遅れて教育実習に行く予定です。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
留学が決まってから出発するまで時間があるので、出発前に特に英語をしっかり勉強しておくことをおすすめします。		

学習の概要に関するレポート

大学到着後すぐにプレースメントテストを受けました。TOEFL や IELTS のスコアが不十分だった場合、大学が指定する ESL の授業を履修しなければいけません。プレースメントテストを受けて既定の点数以上を取ることができれば ESL の授業は免除されます。Reading, Listening, Writing のテストで、約\$25 で任意で受けることができます。

プレースメントテストの結果から、秋学期は ESL の授業を 1 つ履修することになりました。ミネソタ大学では、College of Liberal Arts に所属しており、Communication Studies を専攻していました。よって、秋学期は English as a Second Language, Communication Studies, Physical Education, Curriculum and Instruction の授業をそれぞれ 1 つずつ履修していました。基本的に空きがあれば、とりたい授業が取れるような仕組みでした。たいていの交換留学生は 12~17 単位になるよう履修を組んでいました。春学期は ESL, Communication Studies を 1 つずつ、Curriculum and Instruction の授業を 2 つ履修していました。少しずつ英語に慣れてきたので、秋学期と比べると難易度が高めの授業を中心に履修しました。春学期の授業は特に、グループワークが多かったです。

私が履修していた授業はすべてディスカッション中心の授業でした。最初は特に英語にも慣れておらず、自分が意見を言う以前にクラスメイトが何を話しているかを理解することから困難でした。段々と英語を話すことにも抵抗はなくなっていきましたが、それでもディスカッションには少し苦手意識が残ったままでした。英語で自分の意見を伝えることよりも、すぐに自分の考えを持つということが私にとってはより難しかったです。クラスメイトがためらいなく自信を持って、自分の意見を共有していた姿勢に感動しました。どの授業でも、基本的には毎回課題が出されました。大量のリーディング課題をこなすのにかなり時間がかかり、他の授業を履修し直そうかと考えたこともありました。課題に行き詰った時には、教授のオフィスアワーやインターナショナルの学生のためのサポート団体、友達に助けをもらっていました。できないことは恥ずかしいという思いを持たず、わからない時は相談に乗ってもらうことで、充実した学習を行うことができました。

約 3 か月程ですが、授業の一環として現地の移民、難民の生徒が通うインターナショナルハイスクールに EL tutor としてインターンシップに行っていました。始める前は、自分はノンネイティブスピーカーだから、どうしたらインターナショナルハイスクールでお役に立てるだろうかと、不安も少しありました。ですが良い先生と生徒に囲まれて、最後の日には終わってしまうのがつらい、と思えるほどの良い体験をすることができました。

HUSA プログラムでは、留学先で自分の好きな分野を英語で勉強することができます。慣れるまでは大変だと感じることもあると思いますが、生活していくうちに溶け込んでいけます。色々な国からの学生と議論を交わし、視野を広げることができる非常に貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。

生活の概要に関するレポート

ミネソタ大学の中には、いくつか寮があります。秋学期は一番古いけど立地の良い Centennial Hall のダブルルームに韓国人のルームメイトと住んでいました。寮に住むなら必ずミールプランをつけなければなりません。ミールプランは大学内のすべての寮のダイニングホールで使うこともできます。ビュッフェ形式なので、好きなものを好きなだけ食べることができます。

春学期には大学が管理しているアパートに引っ越しました。4人用で、リビングルームが1つ、ベッドルームが2つの部屋にアメリカ人のルームメイト2人と住んでいました。ルームメイトのうちの1人は、トラブルを起こすようなこともありました。私はルームチェンジをしませんでしたが、共同生活でストレスを感じるくらいなら、思い切ってルームチェンジをしたり、一人部屋に変えてもらうのも手だと思います。アパートはオフキャンパスにあるので、少しキャンパスから遠くなりましたが、近くにバス停や駅があったので、You Pass という公共交通機関で使えるカードを購入し、バス等を利用し通学していました。You Pass は春学期の間街中で使えて、値段は\$1,00 程度でした。公共交通機関を使用する機会が多ければ節約にもなるし便利なので、購入をお勧めします。ミネソタ大学はミシシッピ川にまたがって建てられています。大学内を走る Campus Circulator と呼ばれる無料バスやライトレールという路面電車も通っているので、それらを利用してキャンパス移動をすることができます。春学期は基本的に自炊をしていました。アジアンマーケットで日本の調味料や食材を手に入れることができます。アジア系スーパーも普通のスーパーもあま近くにはありません。私はよく、United Noodles, Dragon Star Oriental Foods, Lunds & Byerlys, Kowalski's Market を利用していました。余裕のある週末にバスやライトレールでスーパーに行き、食材を買い込んでいました。

気候についてですが、11月末頃から経験したことのないような寒さがやってきました。カイロは日本から持ってきていましたが、防寒着は基本的には現地で調達しました。ミネソタ州は雪かきがしっかり行き届いていたので、雪が積もりすぎて危険で歩けないということはありませんでした。外が寒い代わりに建物の中は、空調がしっかりしています。寒さになれているアメリカ人は、教室の中では冬でも半袖を着ていました。5月頭まで雪が降ったり降らなかったりして、5月中旬には28度まで気温が一気に上がりました。秋と春があるのかなのかよくわからない気候でした。

大学内では、様々なイベントが頻繁に開催されていたり、交友関係を広められるプログラムやクラブなどのコミュニティがたくさんあります。大学のサイトや Facebook、友達の紹介などで情報を仕入れ、興味のあるものに参加していました。

長期休暇や余裕のある休日には、旅行をしていました。冬休みは3週間で、カナダとアメリカの東海岸を旅行し、金土日を使ってミネソタ州の周りの州にも遊びに行きました。長距離バスや Airbnb を利用し、できるだけ旅費を抑えるよう計画して旅行しました。